





IT MUST  
BE A  
MAGNIFICENT  
SWORD...



DON'T  
CUT  
YOURSELF!

THE  
BLADE'S  
LADDER  
SABER!



THREE!

IT IS  
SMALLER  
THAN  
A  
VERY  
TIGHT  
TEMPERATURE



WHEN  
MOONLIGHT  
SHINES  
UPON IT,  
IT GLIMMER

THE  
BLACK'S  
EDGE  
IS WHITE  
BUT THE  
BACK'S  
CERTAIN



YOU'RE NOT  
AN ORDINARY  
GUY ARE YOU  
THOUGH, DUH



YOU HAVE  
A SPECIAL  
AIR ABOUT  
YOU

I DON'T  
THINK  
YOU LOOK  
LIKE ONE  
MORE DO  
YOU LOOK  
LIKE A  
TRADER

YOU  
CAN'T BE  
LIKE ME, A  
COMMONER

ARE YOU  
FROM A  
NARROW  
FAMILY

I CAME  
FROM  
KOUKA

OF COURSE  
I'M NOT  
ORDINARY







IS NOT  
HAGARI'S  
MOTHER'S OY

MY  
NAME

BY THE  
WAY,

CALL ME  
GRAND  
HAGARI!

MY  
COMRADES

I CAN'T  
EVEN TELL  
MY NAME  
TO MY  
FAMILY

I'M IN  
THE SAME  
PREDICAMENT  
TOO

IN THE  
VILLAGE  
EVERYONE  
CALLS ME  
HAGARON!

IS THAT  
SO...

HOW  
DO YOU  
WRITE THAT?

HAGARI

I CAN'T  
WRITE,  
ONLY  
READ

I WAS  
ALWAYS  
WITHIN THE  
MOUNTAINS  
OF HAGARI  
AND MY HAIR'S  
LIKE FLAMES



ANYONE

I DON'T CARE IF  
YOU'RE CRAZY  
KAKASHI  
OR NOT



BUT  
I CAN'T  
DO  
IT

SO I  
CHOOSE  
KAKASHI  
TAKUMA

DON'T  
THAT  
BUT  
HE BETTER



YOU  
BE  
RIGHT



TAKUMA



YOU ARE  
KAKASHI  
TAKUMA  
AREN'T YOU?



AND  
I DON'T  
CALL YOU  
HEADACHE

KAKA



I'LL  
ONLY  
KNOW  
YOU ARE  
KAKASHI'S  
MOM  
BECAUSE  
THE  
WAG-  
DICE





IT'S GREAT  
I GOT TO  
KNOW YOU



WHEN MY  
COMRADES  
COME  
LOOKING  
FOR ME

SEATON  
ARE KILLED  
OR FOUND  
UP FOR  
PUNISHMENT



I DON'T  
KNOW  
HOW  
LONG  
I CAN  
STAY  
WITH  
YOU



ILL  
PROTECT  
YOU

STOP  
SAYING  
STUPID  
THINGS

HAIR



HEY  
DARLINA

IF

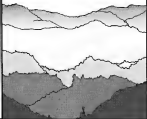
YOU  
COULD  
BE A BIRD  
WHERE  
WOULD  
YOU GO?

YOU'RE AN  
INTERESTING  
GUY





NO MATTER WHERE  
YOU WILL BE I'LL  
ALWAYS BE BY  
YOUR SIDE



HEY  
TAKUMA

AREN'T  
YOU  
COLD?

REACH  
YOUR  
ARM OUT,  
PLEASE!



YOU  
CAN'T  
SLEEP  
THERE

HEY  
MOM-  
BRO-  
SIS!

DON'T  
WON-  
DER  
MY  
FEEL  
BETTER





THIS CHARM OF  
ALPHABETASOL  
WILL PROTECT YOU.  
PLEASE KEEP IT.



I HOPE  
IT BRINGS  
YOU LUCK.



YOU MUST  
CHERISH IT,  
OKAY?



THE FIRST  
COUNCILMAN  
SUGGEST



I'D  
DON'T  
THEIR  
ATTEN-  
TION.

NO



BUT  
I CAN'T  
LET YOU  
GO  
ALONE.

STAY  
HERE

NO



MOVESHOW!

I'LL GO  
ALONE  
TAKE THIS  
CHANCE  
AND RUN!



YOU  
AREN'T  
JUST  
LIKE ME!



I'M  
SORRY!

I WON'T  
LET YOU  
GO  
TO YOUR  
DEATH!



CAN YOU  
BE A KING  
AND SAVE  
A THOUSAND  
PEOPLE WITH  
ONE MIGHT?

CAN YOU  
FORGET  
FORGIVE  
DARK?



DON'T  
DIE

MONSHIROU

YOU'D  
BETTER  
NOT DIE  
ON ME,  
MONSHIROU





TAKUMA,  
I WANT TO  
LIVE IN  
THE EAST  
COUNTRY

WHERE  
THERE ARE  
ONLY PLAINS  
AS FAR AS  
THE EYE  
CAN SEE

WHERE  
THE  
AIR IS  
WINTER  
IS CRISP  
AND  
FRESH

AND I CAN  
STAND  
ON THE  
PLAINS  
AND LOOK  
AT THE  
MOUNTAINS  
SUSSO-  
YAO NO  
TOWN



OVER  
THERE'S  
MYSTICISM  
OVER  
HERE'S  
ALARM

AND A  
LITTLE  
BIT OVER  
THERE'S  
FIRE

FIRE



A  
MAJESTIC  
MOUNTAIN  
TOWN









IS THAT  
TRUTH?



BELOVED...



THERE'S  
ONLY ONE  
PERSON  
WHOM  
I LOVE!

PLEASE  
OPEN  
IT

THERE'S NO DOUBT  
WE WILL REACH  
OUR LOVE

A MAN  
WITH LONG  
SMOOTH HAIR  
EYES OF THE  
DEEPEST  
BLACK



THE  
WARRIOR  
OF  
THE  
SUN

CHAPTER 1







AM



IT'S BEEN 3 MONTHS NOW

I HAVE

COME SO FAR

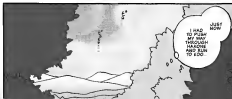


HED SAID HE WANTED TO GO EAST BUT I WONDER IF IT'S TRUE



DON'T WORRY

I'M FINE



I HAD TO PUSH MY WAY THROUGH HARSHNESS AND RUN TO NOW

JUST NOW





WHAT? IS HE  
YEAR OLD?

WAIT  
I MIGHT HAVE  
SEEN HIM  
BEFORE



BOSS, WOULD  
SEEM A  
15-16  
YEAR OLD  
AROUND?

HE HAS  
A LONG  
PONYTAIL  
AND HE  
WEARS A  
SWORD



COULD IT BE...



DO  
YOU  
KNOW  
ANYONE  
NAMED  
SEE

THERE ARE  
ABOUT  
THREE  
DOZENS  
TO 400



ARE  
YOU  
THINKING  
OF GOING  
TO BOOT

WHAAT?  
YEAH





I'D LIKE TO  
ACCOMPANY  
YOU



MONSHIROU!



YOU'VE  
ONLY  
REALIZED  
IT NOW!

TAKUMA.



SEE  
YOU  
LATER!



THE EFFULGENCE YOU EMIT IN THE DEEP MOUNTAINS/END

## ☆てんぐのもり（もふし。）（４）

### ■「てんぐのもり」

このあとのまんが、鎌倉初期、「一揆革命」の心で土地と領を奪取することに命をかけてた若武者の皆さんのお話です。

### ■鎌倉武士の心意気のこと

当時、におかに武士の方が増えたとはいえ、なんだかめっちゃおかしあつてゐる武士のみなさんは、領のお公家の皆さんからは、雑踏の野蠻人として見られてないまうでしたから、いろいろと大変だったかと思えますー。  
この時代の武士たちは、武力はあるけど身分は低く、どうにかして中央権力に自分の権利を認めてもらおうと、膨大な貢物をしるばかりの首領をもらってみたりそれはそれは奮闘してました。  
とはいえ、早期に現代人の私たちがのめり込めるようなものはいくらもなくて、究極は武士のひとたちのちやみかんなか、なかなか深くは理解しにくいですよー。  
（ていうかわからぬー）

土地を奪ひ領主をやる、そのためなら命をも賭するという武士たちのアイデンティティー。彼們にはいって世を捨てて山で暮らすのは死んでも同様、それより名垂りおあげて武功を立て、死に花を添って数百年を誇りつゝお墓を築く。その切實なまでの思いひょっとしてサンダー虎田大村を笑子とかなら「解わかる気がするー」とか言い出すかも知れませんが、現代の感覚では、アブーはなかなかから理解できにくくはありますー。

でも「戦って死ねなんてダメ、戦争なんてなくなりますように」っていう現代概念で考えちゃうと、当時の武士めこころいさな生き様はかすんでしまふ気がするので「戦って立派に死ぬ」ということを「美し」とした意味このお話は面白いです。

### ■お雛見さん文化ー

東洋と西京、日本古来の異色文化ですねー。  
お雛では文物は禁止でございまして、俺のみなさんはお家柄の古いお雛見さんを性、のみならず、メンタルな意思の抑圧として、時には悪文を渡ったり、やきもちをやいたりやかれたり、そんな風に世間で知らしめられていたそうです。  
大学の演劇史の授業で、愚問めめめを見たお雛さんが、見聞しい顔を物語からよだれをたらさんばかりの顔で見つめてる鎌倉時代の雛ーとか見まして、なんか「お雛っがらいいーなーとか」思った記憶があります。

そんなわけで、受けの子が嫌い感じて若干距離置いですが、当時のお雛見さん文化ではありふれたことだったんだらなーと、そういうことでどうぞご了承くださいー

■「音の虎頭」について  
(ホームページの日記でのテキストを一部改めています)

マンガの内容と重複関係ありませんが、音の時代の虎頭について朝見留らせてください。

音の時代の虎ってというのは、もう本当に、闇で泣きつづいたみたいに見えちゃったと思うんです。

虎が泣いてればそれはサシなのかもですけど、山の奥なんでも、一寸虎も、音の前する手を伸ばしても壁に吸い込まれるほどで、わけわからない生き物の声とか、なんかよくわからぬ呪詛とかして、それにそって虎頭で押しつぶされるほどに、まっ暗だったと思うんです。

それは、たとえば夢であってもあるじことで、たとえば黒野狼頭を「血をがれとき」って叫びますけど、あれは「黒野狼頭」または「狼は黒時(かわたれどき)」、つまり、狼の汁でもちょっと喝を飲んでいる人すら狼が狼じゃ見えなくなる瞬間、「狼を飲んでいる人が狼みたい」ってオバカかもしれない。「とちこわくなる」それくらい、人の心ある面と、狼頭虎頭の虎狼の狼との境界として押れられてた瞬間だったことから見てるとききます、夕方までとれたもので、目が覚めようものならもう、みんな一斉に寝てしまって、事件も歩き止ったり、散歩に出て公園に会ったりなんて、ほとんどなかったと思うんです。

血なんが何処には流れないし、抱えてる狼頭には話も貴重なものだし、うっかりすりゃ、這っ入道い様ぎに置かれるやう危険がものすごいあった時代で、

かつての時代の人にとっては、それほどに夜の世界は怖ろしいもので、それでこそ人ならぬもの、オオカミや狼犬、金狼や狼女、狼娘とか、虎や狼頭、虎狼なんかが、生きてると信じていた世界だと思ってるんですよ。

私は、現代史の史料とか古物とか海のアトアツって、あまり好きでないです。ライトアップしてれば、それはまあなんか幻想的には見えますけども、虎の虎そのものの狼頭が全部消えてしまって、狼女だなぁと思うんです。うすら悲しいこわーいも含め、狼頭から思いついたそのままだとか、当時の人たちが喜んだ空想、ほてはその場所にあつた狼頭・狼娘・虎娘もろもろも、現代のアトの虎で全部消えてしまってるんだろーなーと思うのです。

狼頭虎頭の小説でも、(『黒野狼頭物語』黒野狼頭/角田喜久雄)  
「狼頭が打てる世になってこの世には虎狼の世がなくなり、  
お化けも妖怪も天狗もいなくなりました」  
ってありました。  
狼頭お化けや妖怪変化って、虎を捕れる人々のこころそのものだったんでしょーうがね、

でも虎の眼をすついで忘れてしまうのは私もまったく例外ではなくて、  
うっかりすると自分のへんちよこまんがでも、時代施設なのに平気でひいひいひい  
狼頭のように虎や虎頭とこころとかもだましてしまう気がします。  
音の明るいやの影の暮らして居る時とんどみ合いので、虎の存在すら忘れてしまいます。

むかし狼頭虎頭一狼が虎狼の出来た時代に、奥まるうそこの時代の虎頭を想像して、  
原文「狼頭虎頭」を書き直したけども、私の狼頭と比べると、  
虎への狼頭ってかかってくるような気がする一。  
コンビニとか無い時代の古いまんがを讀むと、虎の狼女や狼女というのはいもう  
ちょっと、少なくとも今よりはずっとリアルな虎頭で描かれてる気がする。  
しかも私ね、忘書でコンビニの狼かりで生きる虎頭から現代人なんだなぁ  
とか思います。  
昔の時代は、古い時代の古い虎頭に思いを馳せてみたいなぁと思います。



念



WHEAT  
 SCAMMERS  
 ELECTRICITY  
 TRANSFORMERS  
 NAKASHA  
 PROCEEDINGS  
 SHAW  
 SONGS



**BRAND** **NAME**  
 BRAND NAME  
 BRAND NAME  
 BRAND NAME  
 BRAND NAME

[illegible]